

# 一般会計事業（自主事業）

## I 歴史文化の交流学習事業

### 本館

#### 1 エドはくカルチャー

都市歴史研究室が行っている調査研究活動の成果をわかりやすく解説する講座、特別展・企画展の関連講座、あるいは首都大学東京・JR東日本ジパング倶楽部といった外部機関との連携講座などを中心に合計162講座を開催した。

期 間 平成21年4月10日（金）～平成22年3月26日（金）

会 場 江戸東京博物館（ホール、会議室、学習室1・2）等

受講料 無料～10,000円（友の会、ボランティア 800円～8,000円）

受講者数 11,993人

講座数 164講座（うちJR東日本ジパング倶楽部連携講座32講座、首都大学東京連携講座5講座、三井不動産日本橋文化事業・室町福德塾12講座）

春期カルチャー 計 39 講座

※外部講師

		講座名	開催日	講師	参加人数
企画展「東海道五拾三次〜あの浮世絵がやってきた〜」	メイン講座	歌川広重「東海道五拾三次」の魅力(午前)	4月10日	小山周子	101
		歌川広重「東海道五拾三次」の魅力(午後)	4月10日	小山周子	120
		伝馬制度と宿場町のにぎわい(午前)	4月17日	市川寛明	92
		伝馬制度と宿場町のにぎわい(午後)	4月17日	市川寛明	114
		東海道の関所と渡し(午前)	4月24日	田原昇	102
		東海道の関所と渡し(午後)	4月24日	田原昇	110
		江戸の道中案内(午前)	5月1日	石山秀和	100
		江戸の道中案内(午後)	5月1日	石山秀和	108
		東海道の創造力—街道と文化—(午前)	5月8日	※山本光正	95
		東海道の創造力—街道と文化—(午後)	5月8日	※山本光正	107
		幕末豪商の道中記(午前)	5月15日	※滝口正哉	97
		幕末豪商の道中記(午後)	5月15日	※滝口正哉	111

連続講座	日本の美術 仕立ての美 1-①壁画—神秘なる空間	4月23日	小澤弘	114
	日本の美術 仕立ての美 1-②掛幅絵—座敷を飾る—	5月21日	小澤弘	106
	日本の美術 仕立ての美 1-③屏風絵—可動する芸術	6月18日	小澤弘	103
	町の歴史 1 大伝馬町 伝馬役と名主役(午前)	4月30日	高山慶子	64
	町の歴史 1 大伝馬町 伝馬役と名主役(午後)	4月30日	高山慶子	114
	町の歴史 1 大伝馬町 伊勢商人と木綿問屋(午前)	5月28日	高山慶子	59
	町の歴史 1 大伝馬町 伊勢商人と木綿問屋(午後)	5月28日	高山慶子	97
	町の歴史 1 大伝馬町 馬込勘解由の金融(午前)	7月2日	高山慶子	52
	町の歴史 1 大伝馬町 馬込勘解由の金融(午後)	7月2日	高山慶子	95
	江戸時代の人材派遣業者と雇用問題 武家と武家奉公人	5月14日	市川寛明	117
	江戸時代の人材派遣業者と雇用問題 人材派遣業者=人宿の成立	6月25日	市川寛明	110
	江戸時代の人材派遣業者と雇用問題 武家奉公人と都市問題	7月30日	市川寛明	101
	古文書講座	古文書講座 古文書解読のいろは(体験編)①	6月12日	田原昇
古文書講座 古文書解読のいろは(体験編)②		6月19日	田原昇	65
古文書講座 古文書解読のいろは(体験編)③		6月26日	田原昇	57
古文書講座 古文書解読講座(実践編)①		4月28日	近松鴻二	24
古文書講座 古文書解読講座(実践編)②		5月12日	近松鴻二	18
古文書講座 古文書解読講座(実践編)③		5月26日	近松鴻二	22
古文書講座 じっくりと古文書を読んでみる(解釈編)①		5月13日	石山秀和	33
古文書講座 じっくりと古文書を読んでみる(解釈編)②		5月27日	石山秀和	30
古文書講座 じっくりと古文書を読んでみる(解釈編)③		6月10日	石山秀和	32

文学	永井荷風没後 50 年記念講座 荷風のみた錦絵	5 月 22 日	湯川説子	46
	永井荷風没後 50 年記念講座 荷風の書いた詩を読む、訳した詩を味わう	5 月 29 日	行吉正一	43
	永井荷風没後 50 年記念講座 荷風文学散歩「瀬東綺譚」	6 月 5 日	橋本由起子	28
建築	江戸東京の町とたてもの1 江戸の町とたてもの	5 月 16 日	米山勇	96
	江戸東京の町とたてもの1 江戸時代の名建築—現存建物を中心に—(午前)	6 月 27 日	米山勇	61
	江戸東京の町とたてもの1 江戸時代の名建築—現存建物を中心に—(午後)	6 月 27 日	米山勇	85

夏期カルチャー 計 24 講座

※外部講師

		講座名	開催日	講師	参加人数
特別展 「写楽 幻の肉筆画」	メイン講座	ギリシャのコルフ島の遺跡と ギリシャ国立コルフ・アジア美術館	7 月 22 日	※ニコル・クーリジ ・ルマニエール	102
		ギリシャに眠る日本美術～マノスコレクション の全貌	8 月 5 日	※小林忠	113
		武家文化と馬—新出の山楽と探幽の屏風絵	8 月 12 日	※河合正朝	119
		新出写楽の肉筆扇面画	8 月 19 日	※浅野秀剛	173
企画展 「列島 2009」	メイン講座	東京の中世城館	7 月 17 日	齋藤慎一	119
		古墳時代の日本列島 —大日山35号墳・南摺ヶ浜遺跡を中心に—	7 月 20 日	※清野孝之	86
		平城宮第一次大極殿の復原	7 月 26 日	※島田敏男	94
「江戸東京ねこづくし」 企画展	メイン講座	企画展「江戸東京ねこづくし」関連講座 講談化け猫づくし	8 月 20 日	※田辺凌鶴	116
		企画展「江戸東京ねこづくし」関連講座 バケネコ・オンステージ	8 月 28 日	※横山泰子	100
		企画展「江戸東京ねこづくし」関連講座 「江戸東京ねこづくし」のみどころ	9 月 4 日	西村直子	103

えどかるワークショップ	えどかるワークショップ 落語家駿菊師匠に弟子入り体験ちりとてちん！	7月31日	※古今亭駿菊	13
	えどかるワークショップ 和綴じ本を作ってみよう！（午前の部）	8月6日	楯石もも子	32
	えどかるワークショップ 和綴じ本を作ってみよう！（午後の部）	8月6日	楯石もも子	37
	えどかるワークショップ 和楽器にふれてみよう！水道管尺八	8月21日	※田嶋謙一	28
連続講座	日本の美術 仕立ての美2-① 扇面一折りたたむギャラリー	7月23日	小澤弘+ ※阿部富士子	116
	日本の美術 仕立ての美2-② 絵馬一見上げるギャラリー	9月10日	小澤弘	106
	町の歴史2 深川獺師町 獺師町の成立と内湾漁業（午前の部）	9月3日	※出口宏幸	104
	町の歴史2 深川獺師町 獺師町の成立と内湾漁業（午後の部）	9月3日	※出口宏幸	123
	町の歴史2 深川獺師町 江戸の拡大と本所・深川の開発（午前の部）	10月1日	高山慶子	102
	町の歴史2 深川獺師町 江戸の拡大と本所・深川の開発（午後の部）	10月1日	高山慶子	110
	町の歴史2 深川獺師町 代官と町奉行の両支配（午前の部）	11月19日	高山慶子	90
	町の歴史2 深川獺師町 代官と町奉行の両支配（午後の部）	11月19日	高山慶子	104
文学	猫の文学—宮沢賢治の童話にみる猫たち—	9月2日	行吉正一	44
	泉鏡花の東京異界案内	9月16日	湯川説子	87

		講 座 名	開催日	講 師	参加 人数
特別展 「よみがえる浮世絵 —うるわしき大正新版画展—	メイン講座	橋口五葉の版画の魅力	9月25日	※岩切信一郎	67
		展覧会みどころ講座	10月2日	小山周子	63
		ロバート・ムラーの世界 —そのコレクションと交友について—	10月9日	※ジエームス・ ユーク	60
		新版画が目指したもの —その魅力と美にせまる—	10月16日	※渡邊章一郎	64
		浮世絵 v s 新版画	10月30日	小澤弘+ 小山周子	83
「いけばな」 特別展	メイン講座	特別展「いけばな 歴史を彩る日本の美」 江戸文学としてのいけばな 『生花評判当世 垣のぞき』を中心に—	11月25日	※松原清耕	124
連続講座	日本の美術 仕立ての美 3-① 絵巻・図巻—繰り広げる物語	10月15日	小澤弘	117	
	日本の美 仕立ての美術 3-② 障壁画・天井絵—金碧の空間	11月26日	小澤弘	103	
	日本の美術 仕立ての美 3-③ 絵解き画—語り部の世界	12月24日	小澤弘	106	
古文書講座	古文書講座(初級編)古文書を読もう①	10月8日	近松鴻二	34	
	古文書講座(初級編)古文書を読もう②	10月22日	近松鴻二	40	
	古文書講座(初級編)古文書を読もう③	11月5日	近松鴻二	40	
	古文書講座(中上級)「市中取締類集」を読む①	11月27日	石山秀和	60	
	古文書講座(中上級)「市中取締類集」を読む①	12月11日	石山秀和	59	
	古文書講座(中上級)「市中取締類集」を読む③	12月25日	石山秀和	65	

文学	漱石文学散歩『こころ』を歩く（講座）	11月6日	行吉正一 田中実穂	34
	漱石文学散歩『こころ』を歩く（散歩）	11月13日	行吉正一 田中実穂	23
	斎藤緑雨～樋口一葉との交流と終焉の地・両国～	12月17日	湯川説子	72
建築	江戸東京の町とたてもの2 文明開化と洋風建築	11月7日	米山勇	77
	江戸東京の町とたてもの2 「建築家」がやってきた	12月19日	米山勇	75
たてもの園セミナー	江戸の住まいに学ぶ	10月18日	※波多野純	41
	住環境を科学する	10月18日	※渡邊浩文	28
	豊かな居住空間のデザイン	10月18日	※野沢正光	28

新春期カルチャー 計 29 講座

※外部講師

		講座名	開催日	講師	参加人数
特別展「チンギス・ハーンとモンゴルの至宝」	メイン講座	特別展「チンギス・ハーンとモンゴルの至宝」 関連講座 チンギス・ハーンとモンゴル	2月25日	※吉田順一	168
		企画展「旗本の見た忠臣蔵 ―若狭野浅野家三千石の軌跡―	メイン講座	赤穂事件と江戸文化―忠臣蔵の誕生―	1月8日
殿中刃傷事件簿―長矩の誤算―	1月15日	近松鴻二		204	
赤穂事件の時代背景	1月22日	※原史彦		232	
元禄赤穂事件と若狭野浅野家―初代長恒の奮闘―	1月29日	田原昇		212	
赤穂浅野家の城	2月5日	齋藤慎一		202	

連続講座	町の歴史3 四谷塩町一丁目 四谷の歴史 (午前)	1月20日	高山慶子	60
	町の歴史3 四谷塩町一丁目 四谷の歴史 (午後)	1月20日	高山慶子	100
	町の歴史3 古文書の世界 (午前)	2月18日	高山慶子	58
	町の歴史3 古文書の世界 (午後)	2月18日	高山慶子	98
	町の歴史3 多様な江戸の町 (まとめ) (午前)	3月18日	高山慶子	59
	町の歴史3 多様な江戸の町 (まとめ) (午後)	3月18日	高山慶子	96
	日本の美術 仕立ての美4-① 色紙・画帖絵—小さな世界	2月4日	小澤弘	110
	日本の美術 仕立ての美4-② 器物の上絵—彩の美	3月25日	小澤弘	87
古文書講座	版本の古文書を読もう (初級編) ①	3月10日	石山秀和	77
	版本の古文書を読もう (初級編) ②	3月17日	石山秀和	68
	版本の古文書を読もう (初級編) ③	3月24日	石山秀和	68
	古文書でみる元禄赤穂事件 (上級編) ①	2月26日	田原昇	75
	古文書でみる元禄赤穂事件 (上級編) ②	3月5日	田原昇	71
	古文書でみる元禄赤穂事件 (上級編) ③	3月12日	田原昇	69
文学	田山花袋『東京の三十年』を読む	3月19日	湯川説子	69
	詩の東京—戦中戦後の詩に見る東京—	3月26日	行吉正一	23

建 築		江戸東京の町とたてもの〈特別編〉① 寺社・学校（午前）	2月6日	米山勇	47	
		江戸東京の町とたてもの〈特別編〉① 寺社・学校（午後）	2月6日	米山勇	116	
		江戸東京の町とたてもの〈特別編〉② 住宅・オフィス・文化施設・産業遺産（午前）	3月6日	米山勇	61	
		江戸東京の町とたてもの〈特別編〉② 住宅・オフィス・文化施設・産業遺産（午後）	3月6日	米山勇	89	
「両 国 地 域 を 考 え る」	シ ン ポ ジ ウ ム	関 連 講 座	シンポジウム「両国地域を考える」関連講座① 両国ステーションから見える近代史 ～伝統と近代の交錯～	2月3日	平山昇	84
			シンポジウム「両国地域を考える」関連講座② 国技館と大相撲	2月10日	※土屋喜敬	74
			シンポジウム「両国地域を考える」関連講座③ 芥川龍之介と両国	2月17日	行吉正一	94

## J R 東日本ジパング倶楽部提携講座

### 前期講座

	講 座 名	開催日	講 師	参加 人数
J R 東 日 本 ジ パ ン グ 倶 楽 部 提 携 講 座	総城下町の成立	7月13日	田原昇	78
	総城下町の成立	7月13日	田原昇	74
	特別展講座「写楽 幻の肉筆画」の見どころ	7月28日	我妻直美	64
	特別展講座「写楽 幻の肉筆画」の見どころ	7月28日	我妻直美	63
	江戸時代の干支	8月3日	近松鴻二	65
	江戸時代の干支	8月3日	近松鴻二	68
	江戸時代の商業と物流	8月17日	市川寛明	70
	江戸時代の商業と物流	8月17日	市川寛明	72
	武士の暮らし	9月7日	田原昇	70
	武士の暮らし	9月7日	田原昇	74
	江戸時代の時法	9月28日	近松鴻二	64
江戸時代の時法	9月28日	近松鴻二	67	

	町の暮らしⅠ	10月5日	高山慶子	72
	町の暮らしⅠ	10月5日	高山慶子	67
	特別展講座「よみがえる浮世絵～うるわしき大正新版画」	10月6日	小山周子	34
	特別展講座「よみがえる浮世絵～うるわしき大正新版画」	10月6日	小山周子	35
	町の暮らしⅡ	10月19日	高山慶子	67
	町の暮らしⅡ	10月19日	高山慶子	70

後期講座

	講座名	開催日	講師	参加人数
J R 東 日 本 ジ パ ン グ 倶 楽 部 提 携 講 座	江戸と浮世絵	11月2日	小澤弘	46
	江戸と浮世絵	11月2日	小澤弘	44
	江戸の出版と教育	11月16日	石山秀和	44
	江戸の出版と教育	11月16日	石山秀和	46
	江戸と歌舞伎	12月7日	小澤弘	47
	江戸と歌舞伎	12月7日	小澤弘	45
	江戸の歳事と祭	12月21日	石山秀和	50
	江戸の歳事と祭	12月21日	石山秀和	42
	東京文化展望	1月18日	湯川説子	46
	東京文化展望	1月18日	湯川説子	40
	文明開化と銀座	1月25日	行吉正一	47
	文明開化と銀座	1月25日	行吉正一	44
	近代庶民文化と浅草	2月1日	行吉正一	48
	近代庶民文化と浅草	2月1日	行吉正一	43

首都大学提携講座（全5講座）

	講座名	開催日	講師	参加人数
首都大学提携講座	隅田川の今昔を探る	10月27日	小澤弘	13
	地図にみる隅田川	11月10日	近松鴻一	13
	隅田川の橋、今昔	11月17日	石山秀和	13
	深川の歴史と隅田川	11月24日	高山慶子	13
	近代文学にみる隅田川	12月1日	湯川説子	13

室町福德塾（全12講座）

	講座名	開催日	講師	参加人数
室町福德塾	江戸開府と日本橋の創架	4月13日	小澤弘	28
	江戸図屏風と江戸風俗図巻	5月11日	小澤弘	33
	200年前の日本橋―「熙代勝覧」絵巻	6月8日	小澤弘	32
	日本橋魚河岸	7月13日	市川寛明	26
	日本橋の町と出版業	8月10日	石山秀和	26
	日本橋大伝馬町	9月14日	高山慶子	27
	日本橋の風景	10月19日	我妻直美	24
	日本橋から見た“忠臣蔵”	11月9日	田原昇	28
	江戸時代の時制	12月14日	近松鴻二	26
	日本橋の近代建築	1月18日	米山勇	26
	東洋のベネチア・日本橋	2月8日	米山勇	27
	近代文学に見る日本橋	3月8日	行吉正一	39

## 2 江戸文化歴史検定

江戸東京の歴史と文化を普及する江戸文化歴史検定（一般社団法人江戸文化歴史検定協会主催）の監修等を実施し、研究成果を活用するとともに館の広報を行った。

### (1) 監修

第4回 本試験問題

公式テキスト中級編

第3回 公式問題解説集

### (2) 本試験問題の作成

第4回 100問

【参考】 第4回 江戸文化歴史検定実績概要

日 時 平成21年11月1日（日）

会 場 東京（明治大学駿河台校舎他）、横浜、水戸

受検者数 4,067人（合格者1,160人）

3級 1,158人（合格者641人、合格率61.6%）

2級 1,907人（合格者402人、合格率23.5%）

1級 1,002人（合格者16人、合格率1.7%）

## 3 伝統芸能フォーラム

伝統芸術の発展と継承を目指し、多くの都民が伝統芸能に親しむ機会を提供するため、歌舞伎の所作を学ぶ歌舞伎体操のワークショップ及びトークショーと落語とトークの会を実施した。

### (1) ワークショップ「染五郎さんと踊ろう！歌舞伎なりきり技くらべ！」

期 日 平成21年7月18日（土）、19日（日）25日（土）、26日（日）

会 場 江戸東京博物館 学習室2

主 催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館

講 師 日本舞踊松本流師範 松本錦氏ほか

内 容 ア) 歌舞伎のメイクを学び、独自のメイクを身近な材料で作る。  
イ) 歌舞伎の衣裳を学び、独自の衣裳を身近な材料で作る。  
ウ) 歌舞伎なりきり技くらべの所作を習得し、ア) イ) のメイクと衣裳で踊る。

受講料 4,000円（児童1名と保護者1名のトークショー参加費を含む）

参加者数 156名

### (2) トークショー「市川染五郎の歌舞伎であそぼ！」

期 日 平成21年8月11日（火） ※リハーサル8月10日（月）

会 場 江戸東京博物館 1階ホール

主 催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館

内 容

第一部 トーク 歌舞伎であそぼ！いまむかし

出演：市川染五郎（歌舞伎役者）、鈴木英一（早稲田大学講師）

第二部 染五郎さんと踊ろう！歌舞伎なりきりわざくらべ！

出演：市川染五郎、ワークショップ修了生のみなさん

受講料 一般S席 4,000円(前売) 4,500円(当日)

一般A席 3,000円(前売) 3,500円(当日)

中学生以下（A席のみ） 2,000円(前売) 2,500円(当日)

親子券（一般A席1枚+中学生以下1枚） 4,000円（前売） 5,000円（当日）

参加者数 340名

(3) トーク&ライブ 江戸の粋 新春寄席と吉例住吉踊り

期 日 平成22年1月3日（日）

会 場 江戸東京博物館 1階ホール

主 催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館

内 容

I 新春寄席 第一部

昼の部 三遊亭金翔、三遊亭金時、古今亭菊春、三遊亭吉窓

午後の部 三遊亭時松、三遊亭歌る多、初音家左橋、古今亭志ん弥

《中入り》

II トーク

三遊亭金馬・竹内誠 昼の部 江戸っ子と正月

午後の部 江戸っ子と遊び

III 新春寄席 第二部

昼の部 三遊亭小円歌、三遊亭金馬、住吉踊り

午後の部 柳家小菊、三遊亭金馬、住吉踊り

※住吉踊りには館長以外、昼の部・午後の部出演者全員のほか

古今亭朝太、桂才紫、林家ぼたんも参加して踊りを披露する。

入 場 料 前売券3,000円、当日券3,500円（友の会会員・ボランティア500円引き）

参加者数 476名

#### 4 国際交流事業

平成14年度から、東京都江戸東京博物館と中国・北京首都博物館、韓国・ソウル市歴史博物館、中国・瀋陽故宮博物院（平成18年度より参加）との間で、毎年持ち回りでシンポジウムを開催してきている。

平成21年9月にソウル市歴史博物館において行われた、第8回日中韓国際シンポジウムへ職員2名を派遣し、「東アジア4都市博物館の最近動向及び発展方向」について発表・討議を行った。

また、平成21年11月に北京首都博物館において、巡回展、交換展などの交流事業について意見交換を行った。

## II 展覧会事業（特別展）

「3T戦略」（Target：対象入館者、Timeliness：時宜、Top of sales point：目玉資料）のもと、時代やジャンルなどバラエティー豊かなラインナップの特別展を5本開催し、江戸博の独自性を出すとともに、新たな来館者層の開拓を目指した。運営面では、タイアップ企画やオンラインチケットの販売拡充、協力金方式の協力金収入率を上げるなど、コスト意識を踏まえて事業を推進した。平成21年度の特別展入館者数は、延べ255日間の会期に計368,377人の観覧者を迎えることができた。

### 1 第1回特別展 生誕80周年記念特別展 手塚治虫展 未来へのメッセージ

期 間 平成21年4月18日（土）～6月21日（日） 58日間

会場	1階 企画展示室
主催	財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション
協賛	明治製菓、ドワンゴ
企画協力	手塚プロダクション
協力	宝塚市立手塚治虫記念館
内容	マンガやアニメのパイオニアとして生涯活躍し続けた手塚治虫。その作品群は、文化、芸術、科学に多大な影響を与え、多くの後輩、才能を育てた。生誕80年を記念した本展覧会では、質・量ともにかつてない規模で手塚の人間像と作品世界を紹介し、命を大切にするという未来に託されたメッセージを探った。
観覧料	一般1,300円 大学・専門学校生1,040円 高校生・65歳以上650円
入場者数	128,276人 (1日平均2,212人)
関連事業	東京文化発信プロジェクト 手塚治虫アカデミー
	会場 1階 ホール
	ナビゲーター 手塚 眞 (ヴィジュアルリスト)
	(1)「日本アニメの未来」
	日時 平成21年4月18日(土) 13:00-15:30
	参加者数 381人
	(2)「アートへの道」
	日時 平成21年4月18日(土) 16:30-19:00
	参加者数 356人
	(3)「永遠の火の鳥」
	日時 平成21年4月25日(土) 14:00-16:30
	参加者数 359人
関連番組	NHK BS20周年企画「手塚治虫2009～いのち・科学・未来へGO!～」

2 第2回特別展	日本・ギリシャ修好110周年記念特別展 写楽 幻の肉筆画 ギリシャに眠る日本美術～マノスコレクションより
期間	平成21年7月4日(土)～9月6日(日) 延べ56日間
会場	1階 企画展示室
主催	財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、ギリシャ国立コルフ・アジア美術館、読売新聞東京本社、WOWOW
企画協力	英国セインズベリー日本藝術研究所
後援	外務省、駐日ギリシャ大使館
協賛	清水建設
協力	出光文化福祉財団、ルフトハンザ ドイツ航空会社、ルフトハンザ カーゴAG
内容	日本・ギリシャ修好110年を記念し、ギリシャ唯一の東洋美術館である国立コルフ・アジア美術館において平成20年に発見された写楽の肉筆画をはじめ、同館が所蔵する浮世絵を中心とした日本近世絵画コレクションを紹介した。狩野山楽の屏風や狩野探幽の屏風の模写などの新発見もあり、全てが日本初公開であった。
観覧料	一般1,300円 大学・専門学校生1,040円 小中高生・65歳以上650円
入場者数	112,341人 (1日平均 2,006人)

関連事業 柳家さん喬スペシャル独演会「落語と忠臣蔵〜粋な道行き」  
出演・総合プロデュース 柳家さん喬（落語家）  
日 時 平成21年8月2日（日）午後2時開演（午後1時30分開場）  
会 場 1階 ホール  
演 目 「ネタおろし!芝居風呂」、「中村仲蔵」ほか  
参加者数 412人

- 3 第3回特別展 よみがえる浮世絵—うるわしき大正新版画展
- 期 間 平成21年9月19日（土）～11月8日（日） 延べ45日間  
会 場 1階 企画展示室  
主 催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、毎日新聞社、  
後 援 アメリカ大使館  
協 賛 大伸社  
協 力 ANA  
内 容 江戸の伝統技術を継承しながらも新たに創造された橋口五葉や川瀬巴水らの「大正新版画」を一堂に展示。近代化とともに江戸回顧の機運の高まる時代背景を、当時の生活用品、映像など関連資料も併せて紹介。米国スミソニアン協会所蔵の貴重な新版画コレクション「ムラー・コレクション」の日本初里帰りも果たした。
- 観 覧 料 一般1,300円 大学・専門学校生1,040円 高校生・65歳以上650円  
入場者数 43,124人（1日平均958人）  
関連事業 研究会「よみがえる浮世絵展」  
日 時 平成21年10月24日（土）午後2時  
会 場 1階 映像ホール  
発 表 者 渡邊章一郎（渡邊木版美術画舗）  
小山周子（江戸東京博物館 学芸員）  
参加者数 41人

- 4 第4回特別展 いけばな～歴史を彩る日本の美～
- 期 間 平成21年11月23日（月・祝）～平成22年1月17日（日） 延べ46日間  
会 場 1階 企画展示室  
主 催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社  
協 力 財団法人日本いけばな芸術協会、アート&サイエンス  
企画協力 いけばな資料館  
内 容 日本の伝統的造形美術であるいけばなが、どのような変遷を経て現在にいたったかを、花伝書や花瓶、いけばなを楽しむ風俗を描いた絵巻や屏風など多彩な作品でたどり、その歴史と芸術性を総合的に紹介。会期中の毎週末、現代日本を代表する各いけばな流派による生け込みも実施。
- 観 覧 料 一般1,200円 大学・専門学校生960円 小中高生・65歳以上600円  
入場者数 35,672人（1日平均775人）  
関連講座 「江戸文化としてのいけばな～『生花評判当世垣のぞき』を中心に」  
日 時 平成21年11月25日（水）午後2時～午後3時30分  
講 師 松原清耕（華道義塾塾長・華道史研究家）

会 場 1階会議室  
受 講 料 1,000円  
参加者数 124人

5 第5回特別展 チンギス・ハーンとモンゴルの至宝展

期 間 平成22年2月2日（火）～3月31日（日）延べ50日間

会 場 1階 企画展示室

主 催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、産経新聞社、テレビ朝日、東映

後 援 中国大使館、板橋区文化・国際交流財団、日本モンゴル協会

協 力 中国・内モンゴル博物院、日本航空

企画制作 東映

内 容 チンギス・ハーンが治めた広大な領土から発見された黄金の装飾品や服飾、生活用品を中心に彼を特定する資料を交え、モンゴルの創世記から帝国成立までの様相を明らかにした。多くの謎を秘めたチンギス・ハーンの生涯とモンゴル帝国を大規模でかつ本格的に紹介する展覧会を、初めて実施した。

観 覧 料 一般1,300円 大学・専門学校生1,040円 小中高生・65歳以上650円

入場者数 48,964人（1日平均979人）

関連事業 (1) 音楽物語「スーホの白い馬」

日 時 平成22年2月13日（土）午後1時30分～3時

会 場 1階 ホール

参加者数 365人

(2) 講演会「チンギス・ハーンとモンゴル」

日 時 平成22年2月25日（木）午後2時～3時30分

講 師 吉田順一

（本展監修協力／早稲田大学学術院教授・同モンゴル研究所所長）

会 場 1階 会議室

参加者数 168人

(3) 馬頭琴奏者・賽音吉雅演奏会

日 時 平成22年2月28日（日） / 3月13日（土）

午前10時30分～11時30分

会 場 1階 ホール

参加者数 2月28日実施分 333人

3月13日実施分 403人

### Ⅲ 開館20周年記念事業特別展準備

開館20周年記念事業特別展準備のため、平成21年11月1日から9日にかけて中華人民共和国・北京市内の中国国家文物局、中国文物交流センター、故宮博物院、北京首都博物館、北京芸術博物館、国家大劇院を訪問し、資料調査及び展覧会を含む交流事業について意見交換を行い、開館20周年記念特別展への協力ならびに作品借用の了解を得た。